

上小っ子 校長室だより

2024年5月9日 発行

—校長から保護者の皆様へのメッセージです—

上郡町立上郡小学校 校長 森中 誠

令和6年度がスタートしました。雨が多い日が続きましたが、ひと雨ごとに山々の緑は濃く、空気がすがすがしく感じます。校長3年目となりました。よろしくお願いいたします。

昨年度より、学校の取り組みや様子などをご家庭にお伝えするとともに、ご家庭でもその取り組みをご理解頂き、より一層一緒に子どもたちを育てていきたいという思いで、校長室だよりを不定期で発行しております。



さて、先日は、参観日、学級懇談会、PTA総会とご参加いただき、ありがとうございます。そのPTA総会の中で、学校経営方針をお話しさせていただきましたが、あらためて一部をご説明させていただきたいと思います。

I 学校教育目標

自ら学び続け、表現できる児童の育成

II めざす学校像

- 1 児童が行くのが楽しいと感じる学校
- 2 児童と教職員がともに成長し続ける学校
- 3 保護者・地域と結びつき、活気がある学校

III めざす児童像

- 1 明るく優しい児童
- 2 しなやかでたくましい児童
- 3 自ら考え行動する児童

左のように学校の目標を立てて、教職員が共通理解し、いろいろな取り組みを進めています。

今の社会において児童に求められる力は、本当に多岐にわたっています。その中で上郡小学校の児童に特に必要だと考えているものの1つに、自分の考えを整理したり、ま

とめたりしながら相手に伝えるように話す力があります。同時に、そこには相手の話をしっかり聞くという力を身につけることも必要だとも考えています。学校生活のいろいろな場面の中で、これらの力を鍛えていこうと思っています。

もう一つ、めざす児童像で今年新たに付け加えたのが、「しなやかでたくましい児童」です。この「しなやかでたくましい」児童に育ってほしいという考えの根本は、「レジリエンス」という力です。「レジリエンス」とは、うまくいかない体験やつらい体験や不利な環境に柔軟に対応したり、精神的に落ち込んだ状態から回復したりする力のことです。強い精神力のような「たくましさ」だけでなく、柔軟に対応する「しなやかさ」の意味もあります。

この力は、生まれつき持った性格や気質と関連している部分もありますが、学校での経験や家庭での働きかけによっても伸びていきます。学習に粘り強く取り組ませたり、問題に直面したときに解決のためにじっくり考えさせて取り組ませたりすることでも養われます。当然、級友との協力性も必要です。

基礎的、基本的な知識や技能の学力と合わせて、自分の夢に向かって、歩み続けられる児童の育成に努めます。

